



# 災害、その時 私たちは！

〜災害から学ぶ、私たちの伝えたいこと、伝えたい思い〜  
 東日本大震災から7年、熊本地震から3年が経とうとしています。被災した方々の貴重な教訓から学ぶべきものを見つめ直し、防災・減災に向けた地域の取組について考えることを目的にフォーラムを開催します。ワークショップは仮想避難所体験プログラムを行う予定です。障害のある方等が、災害時、にどんな心配を感じているのか、困りごととその対処法等を全員で考えます。シンポジウムでは災害経験のある当事者の方や有識者の方をお招きし、実態調査（災害時における困りごと調査：日身連）報告とシンポジウムを行います。

日時

2018年3月3日 土

▶ 開場9:45 開会10:00 閉会16:00

ワークショップ(定員50名)

参加無料

シンポジウム(定員150名)

事前申込必要

会場

TIAT SKY HALL

(ティアットスカイホール)

羽田空港国際線旅客ターミナルビル 4F

東京都大田区羽田空港2-6-5

▶ <http://www.tiatskyhall.jp/>

●京急線「羽田空港国際線ターミナル駅(地下ホーム)」から徒歩5分

●東京モノレール線「羽田空港国際線ビル駅(3F)」から徒歩5分

プログラム(予定)

10:00 第1部ワークショップ(仮想避難所体験プログラム) [12:30 終了予定]

13:30 第2部シンポジウム

開会あいさつ 阿部 一彦 (日本身体障害者団体連合会会長)

講演・報告 東 俊裕 (熊本学園大学教授、弁護士)

シンポジウム

シンポジスト 石川 永子 (横浜市立大学准教授)

岩田 孝仁 (静岡大学防災総合センター長、教授)

泥 可久 (神戸市兵庫区自立支援協議会防災を考える部会会長)

野際 紗綾子 (認定NPO法人難民を助ける会 プログラムマネージャー)

コーディネーター 阿部 一彦 (日本身体障害者団体連合会会長)

(50音順・敬称略)



●主催 社会福祉法人日本身体障害者団体連合会(中央障害者社会参加推進センター)  
 ●後援 内閣府政策統括官(防災担当)／厚生労働省／国土交通省／大田区  
 社会福祉法人全国社会福祉協議会 ほか

